

令和3年度 校長より ⑪

1月14日（金）、神奈川県教育委員会教育長から、令和3年度神奈川県立学校の児童・生徒表彰の被表彰者の決定について通知があり、本校美術部の3年生女子が表彰されることとなりました。コロナ禍で行動が制限される中、木版画の表現・技術向上を目指して努力を続け、神奈川県高等学校美術展で2年連続の奨励賞を受け、全国高等学校総合文化祭に出品することになったことを評価されたものです。ご本人及び美術部の皆さん、誠にありがとうございます。本校で脈々と続く文化部活動の伝統を生徒たちがこれまでしっかりと引き継いできた成果であると感じています。今後の益々のご活躍を祈念しています。

1月17日（月）には、同じく、神奈川県教育委員会教育長から、令和3年「かながわ部活ドリーム大賞」表彰の決定通知が、本校がドリーム大賞の準グランプリを受賞しました。また、スポーツ賞としてウエイトリフティング同好会が、サポーター賞として剣道部の保護者会会長が表彰されることとなりました。部活動に取り組んでいる生徒たちやそれを支えるために尽力いただいている保護者の皆様には大変励みとなるものであるとともに、校長として改めて生徒や保護者の皆様に敬意と感謝の念をお伝えさせていただきたいと思えます。日頃より本当に有難うございます。今後ともよろしく願いいたします。

1月21日（金）から2月13日（日）まで、本県がまん延防止等重点措置期間となったため、40分授業を基本とし、部活動は平日週4日1回90分程度、学年を超えて集合する学校行事は延期または中止となりました。そうした中、21日には本校関係者に新型コロナウイルス感染症の陽性者が生じたため、途中で授業を打ち切りとし、教育委員会の指示により1月28日（金）まで臨時休業、29日（土）30日（日）を教育活動停止としました。この間、リモート授業を実施することで学習の保障を行いました。条件が悪い中、自宅でしっかりと授業に参加してくれた生徒たちは大変立派であったと思います。臨時休業期間中は、当初は校内における感染拡大の様子が見られていましたが、日が進むごとに家庭内感染や市中感染に感染経路が変化しましたので、一時的な効果は得られたとして、教育委員会からの指示により31日（月）から教育活動を再開しました。再開にあたり一部感染が心配で登校を遅らせた生徒がいましたが、ほとんどの生徒たちは、極寒の中、朝日を浴びながらいつもの時間に元気に登校しました。県内の感染者数は、2月に入ってから1万人に迫る状況となっています。オミクロン株は感染力が強く、他校では昼食や部活動が感染拡大の場となっているとの連絡も受けています。感染拡大が最小限に抑えられるように、校内外の感染防止対策の徹底に引き続き努めて参ります。

2月7日（月）には、令和4年度入学者共通選抜試験の志願変更締切日を迎え、本校では募集定員が398名のところ、志願者が481名となりました。いよいよ後輩が入学してきます。生徒たちには先輩として自覚を持った学校生活を送り、新入学生を迎えてほしいと思っています。本年度の残り少ない日々を大切に過ごしてください。

令和4年2月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆